



学校だより

横浜市立洋光台第一小学校

令和2年11月30日発行



『豊かな心もち 仲間とともに すすんで未来を拓く子』

校長 中村 智

「おはようございます。」 登校してくる児童を正門前 横断歩道の手前で迎えます。

「おはようございます。」 横断歩道を渡り終えたところでは、児童運営委員会の委員が洋一の児童を迎えます。『あいさつ運動』と書かれた青いのぼり旗を手にした委員もいます。

ときどき、児童運営委員会の委員に、「あいさつをして何割ぐらいあいさつがかえってくる?」と尋ねています。数か月前は、5割ぐらい、6割ぐらいという回答だったのですが、最近は8割ぐらいという回答です。私も同じように感じています。あいさつをする児童が増え、あいさつの声も大きくなっています。

正門前でも、教室でも、廊下でも、あいさつが飛び交う洋一小にしていきたいと思います!

横断歩道で児童が横断するときに使っている黄色の「横断旗」の一部がほつれました。家庭科の先生に針と糸を借り、ほつれた部分を縫いました。この時に「玉結び・玉止め」を行います。これは私が小学生のときに家庭科の学習で習いました。

先日、自宅にある自転車のタイヤがパンクしました。子どものころにやっていた修理方法を思い出しながら修理しました。タイヤチューブを引き出し膨らませ、水を入れた容器につけて泡が出る箇所を特定し、そこにパッチをはるといった流れです。

「玉結び・玉止め」もパンク修理も、当時、難しいなと感じたように記憶していますが、何回かの失敗を経て習得できたのだと思います。

11月10・11日に行った5年生の三浦宿泊体験学習では、みかん狩り、ウォークラリー、焼き板等を体験しました。日常的によく食するみかんですが、みかんがどのような場所でつくられ、どのように実り、どのように収穫されているのかを学ぶことができました。ウォークラリーの途中には、キャベツ畑、大根畑がありました。キャベツ、大根も同様に、店頭に並ぶ前の生育の様子を目にすることができました。焼き板ではガスバーナーを使用しました。ほとんどの児童がガスバーナーを使うのは初めてだったと思います。板を焼いてすすを落とすと、木目を生かした高級感のあるものになります。

学校での家庭科の学習では、5年生が上に書いた「玉結び・玉止め」をしながら手縫いの学習をして、マスクづくり等を行いました。一方、5年生、6年生ともに、調理実習に関しては、新型コロナウイルス感染症対策の観点から制限されることが少なくありません。例年であれば実習する学習内容も、今年度は教師がその実際を見せることのみで留まることもあります。学習内容によっては、ご家庭で実践していただきたいこともあります。ご協力よろしくお願いいたします。

子どものころに体験したことが、大人になっても、日常生活や仕事で生かされることは多々あります。新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、家庭・地域・学校で、いろいろな体験を通して、視野をひろげ、人との交流を図り、次のステップ・未来につなげてほしいと思います。

～ 豊かな心もち 仲間とともに すすんで未来を拓く子 ～

学校教育目標「ひびき合い かがやく 洋一の子」に続く、育てたい子ども像です。